

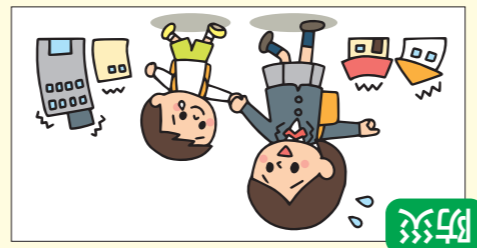
山や崖、川や水路には

防災

地震が起ったら
大雨が降ったら

場所に身を寄せる

答えはこちらから



防犯

誰かが入りやす<、誰からも見えにくい場所には

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

①すぐに
②大きな声で
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

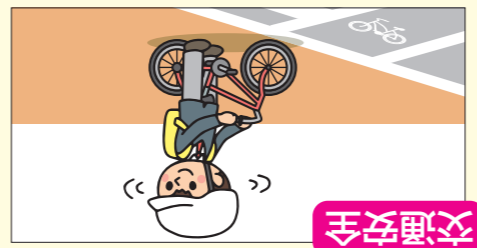


交通安全

歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、どういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。



3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

大阪府では自転車乗車中の事故が多く発生しています。その中でも自転車乗車中の死傷者数については16歳の年齢が一番多くなっています。そのような現状をふまえて、自転車の安全な利用に向けて「たかつき安全NOTE P.42」などを参考にしながら自分の自転車の乗り方を振り返り、より安全に自転車を利用するための自分の行動目標を立てて実践しましょう。

自分の目標	実践した日付

実践後の振り返り

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

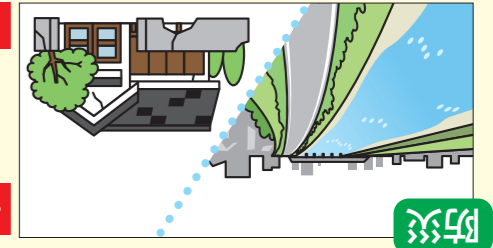
防災

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

例えば...

- 古びていたり、高さのあるブロック塀の側
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

大雨



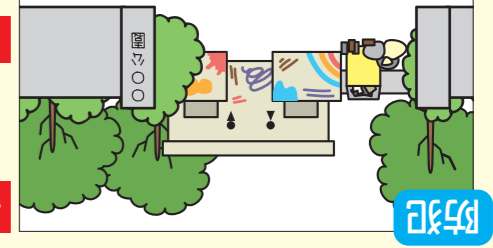
防犯

誰もが入りやす<、誰からも見えにくい場所

例えば...

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

まとめる>



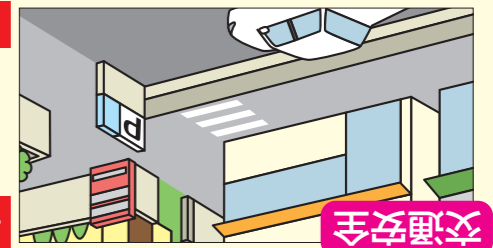
交通安全

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば...

- ワロップ塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

まとめる>



1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?



交通安全



登校時、車やバイクがよく通るので、歩行時に注意が必要。

交通安全



見通しが悪く、急に自転車が飛び出てきたりすることもあり、注意が必要。

交通安全



道がせまく、見通しが悪いので、出会いがしの事故につながる危険性が高い。

防災



大雨が降ると水量が増え、氾濫するかもしれないので注意。

交通安全



道幅がせまいので歩きにくい。
—— 区間

交通安全



信号に応じて、いろんな方向から車が駐車場に入るので、注意が必要。

防災



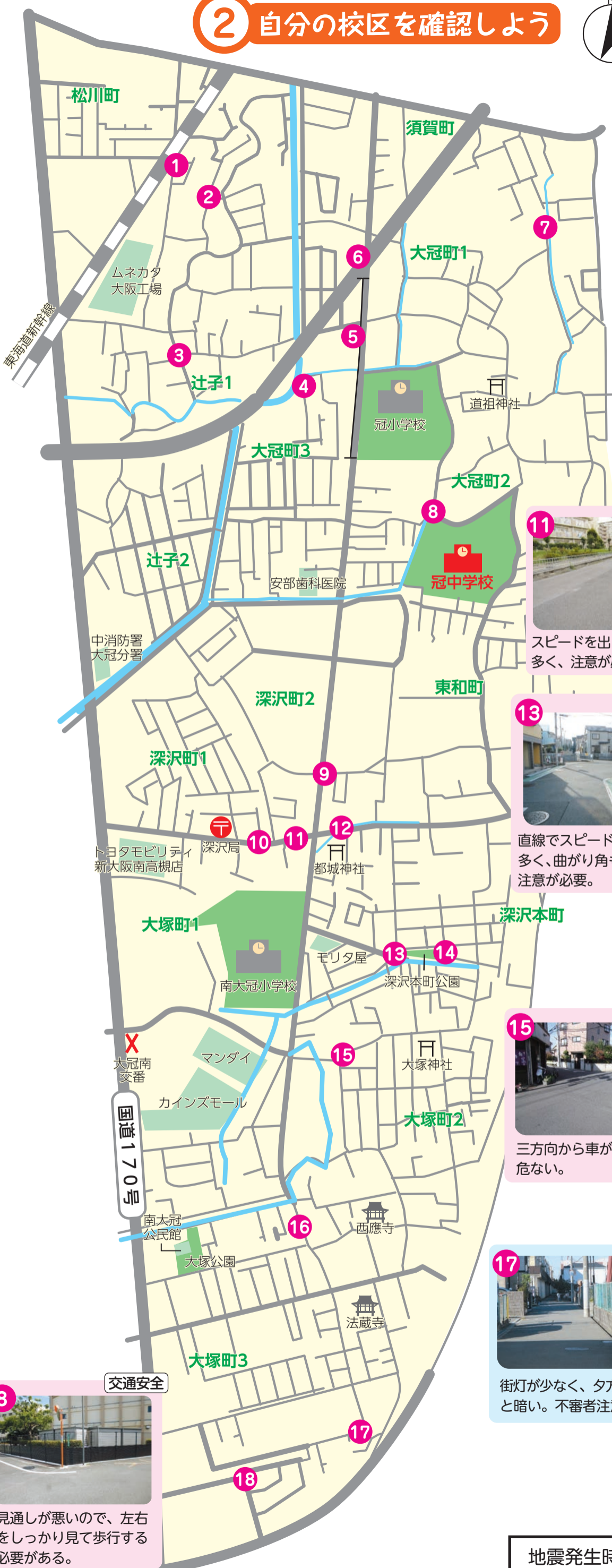
大雨が降ると水量が増え、氾濫するかもしれないので注意。

交通安全



見通しが悪いので、左右をしっかり見て歩行する必要がある。

2 自分の校区を確認しよう



冠中学校

交通安全



信号がない横断歩道や横断歩道のない場所があるため、左右を見て通行すること。

交通安全



交通量も多く、道が細くなっている。信号や歩道、横断歩道も少ないため、左右を見て横断すること。

防災



雨が降ると水位が上がりがやすい。普段から近寄らない。校区内には水路がたくさんあり、同様に危険なので入らないようにする。

交通安全



スピードを出して走る車が多く、注意が必要。

交通安全



直線でスピードを出す車が多く、曲がり角も多いので、注意が必要。

交通安全



公園からボールを追いかけ飛ぶことがある。飛び出さないように注意。
人通りが少ない。

防犯

交通安全



三方向から車が通るため危ない。

交通安全



道幅がせまい。交通量が多い。減速しないまま通行する車が多く、注意が必要。

交通安全



街灯が少なく、夕方になると暗い。不審者注意。

交通安全



通り抜けの車が多い。スピードを出して危険。路上駐車も多く、子どもの飛び出し注意。

X	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所 ()